



山五小

おひさま通信

平成29年度
8月号①

山形市立第五小学校
平成29年8月29日
校長 三 森 聡

ホームページ：「山形市立第五小学校」で検索

挑戦・体験・地域とつながった夏休み



夏休みに取り組んだ 絵画 や工作 を掲げる 1年生

28日ぶりに顔を合わせた2学期始業式、日に焼けた顔も目立ち、とてもたくましさを感じました。この夏休み、子ども達は自由研究をはじめ、絵画・工作・絵日記・作文などの選択活動で得意分野を生かしたり、夏祭りやラジオ体操に進んで参加したりするなど、地域とのかかわりを大事にしていました。また、6年生は親子で花笠パレードに参加し、力強い踊りを披露することができました。これもひとえに、6学年保護者の実行委員の皆さんと、山形大学の花笠サークル「四面楚歌」の絶大なる支援のおかげと感謝しております。

チャレンジ水泳教室や吹奏楽練習会では、担任や担当の先生の他、※5GOサポート隊の方からも指導を受け、一人一人の技術を伸ばす貴重な体験となりました。

(※5GOサポート隊：子ども達の生活や活動へのボランティア支援をして下さるPTA会員)



下学年
代表児童

2学期の始業式では、3年代表児童は、マラソン・漢字と自主勉・算数の計算力、5年の代表児童は、時間を守る・人任せにせず自分から行動する、とそれぞれのめあてを発表しました。



上学年
代表児童

2学期は、83日間ありますが、夏休みの成果をステップにし、更なる挑



新たな気持ちで やる気満々の子ども達(始業式)

戦を期待しています。

◆自分のよさを**知り**、**発揮**していくために



昨年度の学校評価アンケートでは、「自己有用感」がないと答えた子ども達が約4分の1もあり、「自分のよさがよくわからない」と悩んでいる子ども達のいることがわかりました。そういったことから、今年度のキーワードを「**自分を発揮できる** 居心地のいいあたたかい学校」としています。

今回、始業式で絵本「しょうぼうじどうしゃ じぶた」を

紹介しました。

自分のよさを知り、そのよさを発揮していくための意識化につながればと思います。

※参考図書「しょうぼうじどうしゃ じぶた」渡辺茂男作／山本忠敬絵 福音館書店

- ◆はしご車 — 「どんなに高いビルでも、**このはしご**で助けられるんだよ。」
- ◆高圧車 — 「どんな熱い火でも、**このポンプの水**で消せるんだ。」
- ◆救急車 — 「サイレンを鳴らして、**すごいスピード**で人が人を運ぶよ。」

- ◆じぶた — 「僕はちっぽけで、**みんなのようにすごいことができない**…。だから**僕の出番はない**んだ…。」

⇒ところが、山火事になって**細い山道**に行けたのは、**じぶただけ**だった。



この本の**メッセージ**を 全校みんなで考えました。

- 仕事をしっかりと**やり遂げられた**時に、自分のよさを**知る**のかな。
- 周りのみんなが、「すごいね。」と**認めてくれた**時に、自分のよさ(力)が**わかる**ということかな。
- 人には、何かしら探せば**得意なもの**があるということかな。

e t c .

